

新体力テストの結果から見えてきたナントツっ子の体力の実態

◇全体的に劣っている種目

- ・筋力、筋持久力、柔軟性、投力 → 体づくり運動（特に高学年の体力を高める運動）と体づくり運動（特に中学年の力試しの運動）と機械器具を使ったの運動遊び器械運動（鉄棒系）とゲーム・ボール運動（特に低学年のボール投げ）の指導内容を充実させる。

南戸塚小学校の教育活動全般を通しての取組

運動を通して自分や友だちの

よさに気づき認め合う姿

新体力テストの全学年全種目実施

- 自分の体力データを一人ひとりに還元して、自分の体力と向き合う。
- 6年間のデータを健康手帳に貼り溜めていくことで、体力の伸びを実感できる。
- 市や全国平均と比較することで、自分の体力の実態を知り、体育学習のめあて設定に生かす。

ナントツっ子すくすく会議

- 会議に向けて自分たちのクラスで心の健康について話し合い、今後の心と体の健康づくりに向けての方向性を探る。

体育科学習の充実

- 新体力テストの結果から子どもたちの体力の実態を把握した上での指導。
- 評価規準の具体をもとにした個に応じた指導と評価。
- 子どもたちの実態に合わせたカリキュラムの改善。
- 養護教諭や栄養士と協力しての健康な生活の実践力を育む保健学習。

進んで体力の向上を図る姿

ロング中休み

- 水曜日の中休みを30分に拡大することで、遊びを通しての体づくり。

夏季特別水泳教室

- 全学年希望者による夏休み中の水泳教室。

体育授業の充実

- 体育部が主となり実技研修を行い、教師の授業力向上を図る。

体力アップ週間

- 委員会主催のイベント。体力テストの結果から、運動する内容を考えていく。

健康で安全な生活を営もうとする姿

地域との連携

- 地域やPTA主催のスポーツ交流会への参加。

保護者との連携

- 早寝・早起き・朝昼晩ご飯の推進。